著書紹介

アトム通貨で描く コミュニティ・デザイン ―人とまちが紡ぐ未来―

アトム通貨実行委員会編



アトム通貨は早稲田・高田馬場の街で、地域コミュニティを育み、街を活性化させるために生まれた地域通貨です。

アトムを冠に、手塚治虫の願いを理念に込めた地域通貨。国内９つの地域を活性化に導いた魅力のすべてを紹介。本部、支部（ＯＢ含む）など、活動に携わる関係者、総勢29名の生の声を記した実用書です。

この本の第４章『まちが教えてくれたこと』には、第７期早稲田・高田馬場支部事務局長の染谷直人氏（高全60回卒）の「学生としてのまちづくり論―かぎられた年月のなかで」と第８・９期早稲田・高田馬場支部事務局長の落合智彦氏（高全62回卒）の「アトム通貨が教えてくれたこと―立場へのこだわりを捨てて見えたもの」が紹介されています。

新評論より１９４４円（税込）で発売中

おうちパン ホーローバットでとびきりスイーツ

ムラヨシマサユキ著（高全49回卒）





著者は製菓学校を卒業後、ケーキ店・カフェ・レストラン勤務を経て、平成21年からパンとお菓子の教室「ダイドコ」を始めました。著書には『シンプルでおいしいおうちパン』（２０１４年発売　河出書房新社・税込１５１２円）と『ホーローバットで作るとびきりスイーツ』（２０１５年発売　河出書房新社・税込１４０４円）があります。

ネット通販と当日配送 BtoC-ECが日本の物流を変える

森田富士夫著（高全19回卒）



著者は茨城県常総市生まれ。現在、物流ジャーナリストとして活躍されています。

本著では、ネット通販は年々売り上げを増やしているとはいえ、小売全体に占めるシェアはまだ小さい。だからこそ、今後ますます成長する可能性を秘めている。著者は、すでにネット通販の影響でＢtoＣ物流が大きく変わりつつある上、さらなるシェアの拡大でＢtoＣ物流などにも多大な変化が起きると言う。経験豊富な物流ジャーナリストが取材を元に示す未来図。

白桃書房より２０５７円（税込）で好評発売中

石巻で慰霊 ボランティア
水海道一高野球部 ―白球を追える幸せ実感―


白球追える幸せ実感
水海道一高野球部
石巻で慰霊、ボランティア
茨城新聞　平成26年12月31日号

野球部は11月末、部員と鈴木厚監督ら40人がバスで午前３時過ぎに出発。宮城県石巻市の大川小学校や東松島市を訪れ、清掃やシバザクラの植栽などを行った。

部員らは慰霊や清掃ボランティア活動を通じ、東日本大震災の悲惨さと命の尊さを学んだ。現在もグラウンドに仮設住宅が立ち並ぶ学校跡を見て、早期復興を願うとともに自分たちが白球を追える幸せに感謝の気持ちを強くした。

第十八回済美同窓会親睦ゴルフ大会結果報告

平成二十六年十一月四日（火）水海道ゴルフクラブで開催された。

個人の部
優　勝　石塚誠一氏（高全29回）
準優勝　高橋誠治氏（高全23回）
ホールインワン達成5番ホール
関口　衛氏（高全8回）

団体の部
優　勝　高全44回
準優勝　高全29回

ベスグロ
竹村亥一郎氏（高全30回）



※今年度は、十一月九日（月）水海道ゴルフクラブで開催予定。

学校生活

平成26年度後期（10月～3月）・平成27年度前期（4月～9月）



入学式（４月）



クラスマッチ（10月）



定期戦（５月）



修学旅行（グアム）（10月）



亀陵祭（６月）



鷲神社から岡堰往復（小貝川土手）

歩く会（11月）



野球応援（７月）



卒業式（３月）

定期戦

常総野の早慶戦
61年ぶり相星決戦

下妻一高と水海道一高の第78回定期戦が5月2日（土）、下高を会場に開催された。

昨年は下高が勝利し、34勝34敗9分けとなり、1953年以来61年ぶり対戦成績がタイの相星決戦となった。両校の全生徒約1700人や保護者、卒業生が大声援を送る中、野球や陸上競技、弓道など男女13の運動部が対戦し、11勝1敗1分けで下高が制した。海高にとっては、1949年の第5回大会以来66年ぶりに勝ち越しを許す悔しい結果となった。来年、相星に戻してくれることを期待したい。









定時制 ―67年の幕を閉じる― 昭和23年～平成27年

定時制閉課程式が執り行われる

定時制閉課程式が平成27年3月1日、卒業式後、12時20分より亀陵会館大研修室で行われた。定時制関係者、卒業生保護者・済美同窓会関係者、約60名が式に臨んだ。

本校定時制は昭和23年に創立され地域社会の働く若人の学ぶ場であった。卒業生は１５００人を数え67年間の歴史を脈々と築いてきた。しかし時代の流れで本校は県立高校再編整備の答申を受け平成24年に定時制生徒募集停止となり、平成26年度の卒業20名が巣立って定時制の歴史に幕を閉じた。

定時制の歴史を残すために閉課程記念誌『大地』を発行し、又、生徒達がそれぞれの思いを込めて描き上げた記念合作絵画をセンターホールに掲げその思いを後世に残す。最後の卒業生によるこの合作絵画は、平成26年10月から制作を開始。作成に当たり、定時制教育振興会会長の山﨑理恵子氏（高全15回卒）の指導を頂き、生徒達だけではなく、閉課程実行委員の方も筆を入れた。氏によると「水海道一高のシンボルツリーである泰山木をメインにした希望に満ちた絵ができあがった」とのこと。

この合作絵画は、本館３階センターホールに展示されている。





定時制教育振興会会長の山﨑氏


閉課程式　代表挨拶


仕事と両立「根性で」
「さらば定時制」
学校に行きたい一心


「負けない」胸に秘め
「さらば定時制」
逆境ばねに奮い立つ
茨城新聞に連載された


卒業生全員の思いがつまった合作絵画（センターホール）

平成27年度　大学入試合格状況

筑波大・千葉大・埼玉大など国公立に52名合格

―私立は早稲田・上智・東京理科など637名―

国公立大学

大学名	合格者数	
	26年度卒 ( )内過年度	25年度卒 ( )内過年度
引前大	2	
秋田大	1	
山形大	2	1
福島大		1
茨城大	23（2）	10
筑波大	3（1）	5（1）
宇都宮大		2（1）
埼玉大	2	4（1）
千葉大	2	4（2）
お茶の水女子大		1
電気通信大	1	1（1）
東京農工大		1
静岡大		1
信州大	1	1
長岡技術科学大	1	
富山大	1	
名古屋大		1
佐賀大	1	
釧路公立大	1	
秋田県立大	2	
会津大	1	
茨城県立医療大	4	3
埼玉県立大	2	
防衛大学校		2
その他	2	10
計	52（3）	48（6）

私立大学　現役合格　２年連続　最多更新

大学名	合格者数	
	26年度卒 ( )内過年度	25年度卒 ( )内過年度
青山学院大	8（1）	2
学習院大	5（2）	3
神田外語大	8（1）	
北里大	3（1）	5
慶應大		3（1）
国学院大	7	3
駒澤大	8	12
芝浦工業大	12（1）	9（1）
上智大	1（1）	3
成蹊大	8	4（3）
成城大	4	3
専修大	15（1）	14（4）
玉川大	5	6（1）
中央大	8（5）	4（2）
帝京大	22	13
東海大	8	6（1）
東京女子大		2（1）
東京電機大	14（2）	18（1）
東京都市大	5	4（4）
東京農業大	2（2）	5（1）
東京理科大	7（1）	9（2）
東邦大	5（2）	1
東洋大	62（5）	42（2）
獨協大	32	31
日本大	39（5）	58（8）
文教大	24（2）	16（2）

大学名	合格者数	
	26年度卒 ( )内過年度	25年度卒 ( )内過年度
法政大	19（3）	29（3）
明治大	9（5）	12
明治学院大	3	14（1）
立教大	5（1）	9
早稲田大	6（4）	5
千葉工業大	18	
立命館大	1	
同志社大	1	
その他	263（9）	281(11)
計	637(54)	626(49)

短期大学

大学名	合格者数	
	26年度卒 ( )内過年度	25年度卒 ( )内過年度
青山学院女短	1	1
東京家政大短大		2
女子美大短	1	
その他	3	7
計	5（1）	10

専門学校・就職

	合格者数	合格者数
	26年度卒	25年度卒
専門学校	25	22
就職（民間）	2	1



３年進路



教育実習生（母校卒業生）



中学生のための学校説明会（現役生）



センター試験前
教員が生徒にエールを送る



卒業生と語る会



大学見学会

平成27年度一般会計 予算（案）

収入の部

科目	本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	比較(減△)	摘要
会費	1,850,000	1,850,000	0	1,000円×1,850口（見込）
卒業入会金	564,000	602,000	△38,000	全日制282×2,000円
卒業年会費	2,256,000	2,408,000	△152,000	全日制282×8,000円
繰越金	1,747,139	1,568,404	178,735	平成26年度一般会計繰越金
雑収入	182,861	171,596	11,265	預金利息・懇親会費等
合計	6,600,000	6,600,000	0	

支出の部

科目	本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	比較(減△)	摘要
印刷費	1,250,000	1,250,000	0	同窓会報、会費振込用紙、封筒印刷代
通信費	1,400,000	1,350,000	50,000	同窓会報、会費振込用紙郵送料
会議費	750,000	700,000	50,000	総会・役員会の準備、諸資料等
事務費	30,000	30,000	0	事務用品代等
旅費	300,000	200,000	100,000	幹事の各支部会等への旅費
慶弔費	100,000	100,000	0	役員、教職員関係
餞別金	150,000	150,000	0	母校転退職職員への餞別金
記念品	150,000	150,000	0	母校卒業生への記念品代等
補助費	500,000	500,000	0	各支部総会、各同窓会への補助
援助費	800,000	800,000	0	母校部活動への援助
雑費	20,000	20,000	0	花束代等
予備費	1,150,000	1,350,000	△200,000	
合計	6,600,000	6,600,000	0	

収入総額　6,600,000円　　支出総額　6,600,000円
差引残高　0円

平成26年度一般会計 収支決算報告

収入の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	比較(減△)	摘要
会費	1,850,000	1,854,001	4,001	振込1,000円×1,820口　1円×1口 現金1,000円×34口
卒業入会金	602,000	596,000	△6,000	全日制278人　定時制20人×2,000円
卒業年会費	2,408,000	2,384,000	△24,000	全日制278人　定時制20人×8,000円
繰越金	1,568,404	1,568,404	0	平成25年度一般会計繰越金
雑収入	171,596	188,208	16,612	懇親会費、金利息等
合計	6,600,000	6,590,613	△9,387	

支出の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	比較(減△)	摘要
印刷費	1,250,000	1,211,919	△33,081	同窓会報、会費振込用紙、封筒印刷代
通信費	1,350,000	1,377,676	27,676	同窓会報、会費振込用紙郵送料
会議費	700,000	707,962	7,962	総会講師謝礼、総会及び役員会補助、会議準備等
事務費	30,000	24,840	△5,160	はがき代、インク代、諸手当等
旅費	200,000	240,390	40,390	幹事の各支部会への旅費
慶弔費	100,000	26,200	△73,800	花輪・弔電等
餞別金	150,000	75,000	△75,000	母校転退職職員への餞別金
記念品	150,000	143,618	△6,382	母校卒業生への記念品印鑑代
補助費	500,000	450,000	△50,000	各支部総会、各同窓会への補助
援助費	800,000	434,359	△365,641	部活動への補助（弁論・陸上・吹奏楽・音楽・ハンドボール）
雑費	20,000	0	△20,000	
予備費	1,350,000	151,510	△1,198,490	額装代・定時制記念誌補助
合計	6,600,000	4,843,474	△1,756,526	

【決算】　収入総額　6,590,613円　　支出総額　4,843,474円
差引残高　1,747,139円（平成27年度一般会計へ繰り越し）

平成27年度 済美同窓会創立百周年記念基金特別会計 予算（案）

	科目	本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	比較(減△)	摘要
収入	繰越金	13,952,816	13,950,035	2,781	平成26年度特別会計繰越金
	雑収入	2,700	2,800	△100	預金利息
	合計	13,955,516	13,952,835	△2,681	
支出	繰越金	0	0	0	
	合計	0	0	0	

収入総額　13,955,516円　　支出総額　0円
差引残高　13,955,516円

平成26年度 済美同窓会創立百周年記念基金特別会計 収支決算報告

	科目	予算額(円)	決算額(円)	比較(減△)	摘要
収入	繰越金	13,950,035	13,950,035	0	平成25年度特別会計繰越金
	雑収入	2,800	2,781	△19	預金利息
	合計	13,952,835	13,952,816	△19	
支出	繰越金	0	0	0	
	合計	0	0	0	

【決算】　収入総額　13,952,816円　　支出総額　0円
差引残高　13,952,816円（平成27年度創立百周年記念基金特別会計へ繰り越し）

山口奨学基金は、平成26年度に50万円を支出し、利息分を含めた残高は7,878,813円です。

会費（千円）払込手数料負担のお願い

会費払込手数料は同窓会員のご負担とさせて頂きありがとうございます。今年も諸事情をご高配の上、何卒よろしくお願いいたします。

払込の方法はいろいろありますが、手数料の安いものには以下の方法（平成二十七年七月現在）がございます。会員の皆様のご都合にあわせて選択頂き、払い込みをお願いいたします。なお、住所等の訂正がおありの場合には、これまで通り同封の払込取扱票にご記入の上、左記①の方法でお願いいたします。

①これまで通り、同封の払込取扱票を用いて現金で払い込む場合

ゆうちょ銀行の窓口扱いで百三十円、ＡＴＭ扱いで八十円。

②会員個人の銀行口座から振り込む場合

振込人を特定するために、その銀行の様式により異なりますが、振込人氏名の前か後に、または別情報入力欄に、整理番号の最初の０と枝番以降を省いた情報を添えて下さい。整理番号は、同封の払込取扱票下部のご依頼人のところに記載されています。例えば整理番号が「００１２３４５６－５１（Ｈ０１）」であるならば、「１２３４５６」として下さい。

ア ゆうちょ銀行総合口座などからの振替の場合

ゆうちょ銀行の窓口扱いで百四十四円、インターネットのゆうちょダイレクト扱いは月五回までなら無料。

この場合の振込先は、

記号　００３４０　番号　００１８１１

イ 他の銀行から振り込む場合

手数料はその銀行の規定によりますので、ご確認ください。インターネットバンキングなどでは無料となる場合もあるようです。

この場合の振込先は、

銀行名　ゆうちょ銀行
金融機関コード　９９００　店番　０３９
店名　〇三九店（ゼロ・サン・キュウです）
預金種目　当座　口座番号　０００１８１１
名義人　茨城県立水海道第一高等学校　済美同窓会
カナ氏名　イバラキケンリツミツカイドウ　ダイイチコウコウセイビト（システムの三十文字制限のため）

部活動の近況報告

第97回全国高校野球選手権茨城大会



４回戦進出も
強豪、霞ケ浦の壁破れず!!

２回戦では第６シードのつくば国際と対戦し、攻守に粘り強さを見せ６対２で撃破。３回戦も藤代紫水高に８対３で勝利し４回戦進出を果たしましたが、17日・18日の連戦で選手の疲れも残り、惜しくも強豪霞ケ浦高に10対１で敗退しました。

演劇部公演のお知らせ

茨城県高等学校演劇祭県西地区大会

平成27年８月23日（日）
上　演　14時～15時
会　場　常総市生涯学習センター
（入場無料）
上演作品「桜井家の掟」
（作：阿部順）
演　出　濱田知音（本校２年次）



吹奏楽部ボランティア活動

市内外の介護施設での演奏会、千姫まつり等、地域の行事などにも積極的に参加し、皆さんの心に音楽を届けています。



関東大会出場

陸上部（個人）、女子ハンドボール部、弓道部（女子団体）、水泳部（個人）、弁論部（茨城１位・２年連続９回目全国総文祭出場）

母校の人事異動

退　職

谷田部佳見	校長	定年退職

転　出

国府田　稔	定時制教頭	下妻一高へ［在職２年］
海老沼　洋	教諭	岩井高へ（高全31回卒）［在職８年］
海老澤恭弘	教諭	高校教育へ［在職４年］
小池　啓子	教諭	取手一高へ［在職９年］
杉田美智子	教諭	土浦湖北高へ［在職８年］
平元(櫻井)円	教諭	牛久栄進高へ［在職８年］
福田　学	教諭	土浦二高へ［在職７年］
村田　綾子	主任	取手松陽高へ［在職４年］
関根　理恵	講師	水戸農高へ［在職１年］
野村きちの	養護助教諭	任用期間満了［在職１年］

転　入

武井　一郎	校長	教育研修センターから
堀田　明子	教諭	水海道二高から（高全38回卒）
軽部　光男	教諭	土浦湖北高から
前川　匡史	教諭	鹿島高から
長沢由美子	教諭	岩井高から
宮河　猛	教諭	守谷高から（高全48回卒）
臼田　文	教諭	水海道二高から（高全43回卒）
小口　恵美	主任	石下紫峰高から
栗田　香里	講師	



事務局より

事務局は、母校教員である同窓生が授業の合間に、係分担して総会の準備や『済美同窓』発行、支部会への参加など手分けして行っています。至らない点が多々あるかと思いますが、なにとぞご理解ご協力をお願い申し上げます。

済美同窓会では、在校生の文化部・運動部への援助活動、山口奨学基金授与、各種同窓会への補助活動を行っております。

ＴＥＬ　０２９７（２２）００２９
ＦＡＸ　０２９７（２２）５４７９
E-mail（職員室）mail@mitsukaido1-h.ed.jp

編集後記

ネムノキの花が咲いている。編集作業はいつもこの時期（６月下旬）になり生徒は定期考査真っ最中で我々は丸付けに追われている。私が高校生の頃、帰り道で一斉にネムノキの花が咲いた光景に出会ったことがあった。淡い紅色で穂先を広げた花が青スキの中に無数に咲いていて、おとぎ話の世界に紛れ込んでしまったかと思ったほどだった。漢字で「合歓」と書くことに惹かれ、英語では「a silk tree」と書くことも知った。時々授業で季節の花などを教えているが生徒の心の風景はどうだろうと思う。高校時代に出会う風景にはその時の匂いや表情まで鮮明に思い出すことがある。我々済美同窓の窓からはどんな風景が見えるのだろう。年々歳々花相似たり。誰かのための風であるように。ご自愛下さい。

（宮本　治　28回卒）